

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和4年度 検証・評価・見直しシート

令和5年3月

鮫川村

基本目標（数値目標）評価シート

①村民の幸福度を通じて目指す数値目標

数値目標	現状	目標	R4結果	結果についての考察
村に愛着を感じている人の割合（振興計画策定に係るアンケート調査結果より）	79.7% (R1年)	85.0% (R6年)	-	R6に住民アンケート予定の為未把握

(1) 暮らしやすく賑わいのあるむらづくり

数値目標	現状	目標	R4結果	結果についての考察
村に住み続けたいと思う人の割合	73.10%	80.00%	-	R6に住民アンケート予定の為未把握

(2) 稼ぐ力の創出

数値目標	現状	目標	R4結果	結果についての考察
公務を除く従業者数 (経済センサスー基礎調査)	756人 (令和1年)	756人 (令和6年)	-	経済センサス速報が来ないと不明
職に関する講習会の実施 (チェーンソー・草刈り機)	2回	5回	0回	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施イベントがなかった

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	R5.1.12
主要施策	子育て・教育支援プロジェクト	教育課等	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和4年度)	結果数値についての考察
「子ども子育て協議会」の設置	設置	-	子ども子育て支援事業計画にのっとり進めて行く
村に愛着を感じている中学生の割合	64.7%		

■ 取組内容

①	子育て支援事業の充実	担当課等	こどもセンター			
各種預かりサービスを通じて多様化する保育ニーズに応えます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	2 保育サービスの充実 事業	
章		節		項	事業	
取組の成果	保育アンケート満足度92.7% やまゆり保育・乳児室対象者8名中5名参加。（参加率62.5%、前年比22.9%増加）、預かり保育、一時預かり保育申し込み計3件有、全て実施。移住定住、子育て支援プロジェクトチーム（S-KIT）で子育て支援に関する事業をまとめたホームページを作成。				評価	B
推進上の課題	・感染対策を講じた食育の実施 ・保護者ご意見に園児に係る姿勢、保護者対応にバラツキの指摘があったため改善に取り組む必要がある。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	保護者に対し子育て、こどもセンター利用のアンケートを取り、保護者のニーズに応じて教育・保育ができる体制を整えるべく、職員の技能向上及び研修の実施、職員の確保を図る。					

①	子育て支援事業の充実	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点事業を充実させ、子育てに対する負担感や不安を軽減します。 ・放課後児童クラブを充実させ、保護者が働きやすい環境を整備します。 特に少子化や核家族化が進み、児童クラブに預ける家庭が増えているため、子育て支援の充実を図るためにも、指導者の確保に努める。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	1 子育て支援拠点事業の充実 事業	
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	3 放課後児童クラブの充実 事業 放課後児童クラブ事業	
取組の成果	待機児童なしで、利用されている。令和3年度に学び舎（4年生～6年生）の施設を増設し、人数が多い場合は高学年と低学年に分けて指導している。				評価	B
推進上の課題	指導員の確保が急務。現在、定員30名のところ48名が登録しており定員オーバーの状態である。指導員が3名であるが、子どもの多様化、指導員の高齢化などで1名以上の確保が必要である。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	今後、指導員を1名増やし、児童の安全性を確保し運営できるようにしたい。また、児童クラブの対象者を4年生までにするなどの対応も検討したい。					

②	支援が必要な子どもと家庭への対応	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係	
・医療費助成など保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童虐待の早期発見、防止などに取り組み、支援が必要な子どもと家庭を支えます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	5 支援が必要な子どもと家庭への対応	
取組の成果	子ども医療費の助成やひとり親家庭医療費を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図った。また、要保護児童対策協議会での実務会議では、関係機関を参集し、支援が必要な家庭の情報を共有し、虐待の未然防止や早期発見、支援が必要な家庭への支援方法などの共通認識を図った。				評価	B
推進上の課題	子ども家庭総合支援拠点を設置する必要があるが、支援拠点の体制について検討が必要である。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	子ども家庭総合支援拠点を設置し、子ども家庭支援全般に係る業務や要保護児童等への支援業務等を実施する。ファミリーサポートの検討。					

③	村の特性を生かす特色ある教育（ふるさとキャリア教育）の推進	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
・ふるさと鮫川を愛し、誇りに思う心を育むとともに、自分の将来の夢に向かってたゆまぬ努力を続ける心を育みます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	4 人と文化が輝くふるさと鮫川	節	2 学校教育	項	5 村の特性を生かす特色ある教育（ふるさとキャリア教育）の推進	
章		節		項		
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育において、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を系統的に学ぶ『さめがわ学』を実施した。 ・地域の人材リストを作成し学校と共有した。 ・給食に使われている農産物の生産者と子どもたちが会食する「食と農の交流会」を鮫川小学校で開催した。 ・小学校ではさめっ子フェスティバル、中学校では壇の岡祭で環境学習や生活学習等の取組を発表した。 				評価	B
推進上の課題	地域人材の発掘と高齢化、学校（教育課程）との日程調整、コーディネーターの育成が課題。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	R5に学校運営協議会・地域学校協働連携本部を設置する。学校を核とした地域づくりの体制づくり。R5小学生、中学生の村への愛着度アンケート、さめがわ学への満足度アンケートを実施する。					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	稼ぐ力と雇用創出	施策主管課	作成日	R5.1.12
主要施策	産業振興と担い手育成・創業支援プロジェクト	農林商工課	作成係	農政係

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和4年度)	結果数値についての考察
認定農業者数	40人	27人	人数推移：R4.1.1現在 34人→R5.1.1現在 27人 現象理由：死亡2人、経営移譲1人、利点不足 2人、要件不足2人 ※認定農業者に対する補助事業のメリットがなく融資制度のみのため必要性が感じられない。
「人・農地プラン」作成地区数	5地区	9地区	村内全ての集落を対象に作成済み。令和3年度に村内全域を対象に9地区作成した。

■ 取組内容

①	農業の振興と高付加価値化及び6次化商品の開発、販売	担当課	農林商工課	記入係	農政係
---	---------------------------	-----	-------	-----	-----

①水田の活用推進及び耕作放棄地の防止のため大豆やエゴマ等の土地利用型作物の生産を振興するとともに、自然に配慮した農産物の栽培等による高付加価値化の農業振興を図ります。
 ②大豆やエゴマの加工品開発と販売促進、担い手となる加工技術者の育成、加工施設等の整備を推進します。
 ③地域一体となった農地の保全活動を推進するため、「人・農地プラン」を作成し、農地の集積や中核的担い手農家の育成を図ります。
 ④後継者や担い手不足の解消を図るため、農業生産を行う法人や集落営農組織の推進を図ります。

第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。

章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	3 「まめで達者な村づくり事業」	事業	大豆生産奨励事業
章		節		項		事業	

取組の成果	①ゆうきくん堆肥が施用され大豆、エゴマが栽培される等自然に配慮した農産物の栽培が取り組まれた。 ②手まめ館に急速冷凍機「凍眠」の導入、味噌カステラの改良版開発等に取り組む、地域農産物等の加工に取り組んだ。 ③若手担い手懇談会の開催。認定農業者、若手担い手の視察研修の実施。 ④1集落で集落営農が取り組まれており、栽培支援等を実施した。	評価	B
推進上の課題	①湿田での排水対策改善及び水田、畑を活用した栽培面積の確保。 ②新たな大豆製品の開発、販路確立。 ③若手の中核的担い手農家の育成。 ④持続的な集落営農支援と集落営農組織の増加。	方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	①少量栽培、全量買取による栽培者数の確保。（少量多人数栽培） ②機能性成分を重視した新たな加工品開発。（健康志向と売れる商品作り） ③認定農業者制度の支援内容の拡充（村単独補助事業の創設：上限30万円。1/2補助。） ④集落営農参加者の拡充（人数の増加）		

②	物販販売促進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係
---	--------	-----	-------	-----	-------

・イベント等を通じて、村産農産物の安全・安心を消費者に対して直接理解していただくとともに、農産物や特産品の販売促進を図ります。

第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。

章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化	事業	ふる里振興協議会の運営支援
章		節		項		事業	

取組の成果	コロナ前に参加していた首都圏の催しは、昨年に引続き中止となったものがほとんどであったが、城南信用金庫、ホテル樺会といった新たな繋がりによる機会があり、村産品の販売を実施した。	評価	C
推進上の課題	村主体となり活動しているが、手まめ館職員や生産者が主体となり実施しなければ取組みの目的達成が難しい。	方向性	縮小
新たな取組や見直しの方向等	販売実施先の精査、手まめ館職員や生産者といった同行者の確保、売ってくるだけでなく、手まめ館における野菜の定期便情報の発信や動画による安全・安心な特別栽培PRの検討。また、県内における販売先の拡大に向けた戦略の検討。		

③	特産品販売振興	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・エゴマを加工品販売促進と原料確保のため、農家からエゴマを買い取る費用の一部について助成します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	
章		節		項	事業 特産品販売促進事業	
取組の成果	エゴマ生産者の拡大を図るために、生産者へ買取量に応じ奨励金を助成してはいるものの、栽培面積、収穫量が減っている。原因として生産者の高齢化と、エゴマの収穫には手間ひまが掛かる事が要因と思われる。また、物販販売等でエゴマ商品を持っていくが売れ行きが少ない。				評価	B
推進上の課題	地域ブランド農産物の維持と生産量の確保				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	エゴマやエゴマの加工品の需要について、販売実績などの推移を分析し、今後の特産品開発や販売方法を変えていく。また、生産者を維持していくためにも買取単価を400円から500円に見直しを行った。(R5予算計上)					
④	環境と共生する企業等の誘致促進及び里山オフィス整備と起業支援	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・村内における経済の活性化に向け、本村の優れた農村環境・里山景観と共生する企業や、研究機関等の立地促進に向けた取り組みを進めます。 ・テレワーク等、新たな働き方に対応し、気軽に働くことができる場所（起業できる場所）を提供することにより、移住者・起業者の増加または企業進出を促進します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	2 里山オフィスの整備、起業支援	
章		節		項	事業 里山オフィス整備	
取組の成果	温泉宿泊施設結び				評価	D
推進上の課題	・移住定住施策との連携 ・立地条件で劣る鮫川村を選んでもらえる仕組み、利点が重要になる				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	・起業家、企業へ支援体制の構築 ・フリーWi-Fiが使えるスポットをワーケーション施設としてPRする					
⑤	ハローワーク求人情報提供	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・ハローワーク白河から送付される雇用情報をホームページで公開、窓口の情報誌を設置し、情報提供を行います。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	1 求人情報の提供と事業所への働きかけの推進	
章		節		項	事業 ハローワーク求人情報提供等	
取組の成果	継続してホームページで公開、窓口の情報誌を設置。毎週木曜更新の情報誌を2部設置しており1部減っていることが多いが、窓口（商工観光係）への問合せはない。				評価	B
推進上の課題	引き続きハローワーク白河との連携を行い、近隣町村含め動向の共有を行う。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	・窓口、HP上で村内の求人情報をピックアップして公開 ・広報誌へ村内事業所の求人情報の有料掲載を検討					

⑥	商工業経営の安定化の促進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・商工業経営の安定化、経営基盤の強化に向け、各種融資制度の周知と活用促進に努めます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	2 商工業経営の安定化の推進	
章		節		項		
事業	商工業経営合理化支援事業				事業	
取組の成果	融資を受けた事業所の実績はなかった。				評価	C
推進上の課題	商工会と連携しながら、制度周知の情報発信（年2回）を行う。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	商工会と連携しながら、制度周知の情報発信を行う。また、新規事業者に対しての助成制度の構築					

⑦	情報交流の場づくり	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・新商品の開発や新たな事業立ち上げなどへの意見交換、地域振興のための情報交換会、勉強会、アイデアなど自由に言いあえる環境を整えます。また、それらに対応できるコーディネーター等を配置し、稼ぐ人・稼ぐ力を地域で組織的に育成する基盤を整備します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章		節		項		
章		節		項		
事業					事業	
取組の成果	地域おこし協力隊による梅の販路拡大、村内の一次産品を使用した商品開発に着手している。また、住民参加型の研修会を2月に実施した。				評価	B
推進上の課題	地域で組織的に育成する基盤の整備				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	開発品等の実証、村内に既にある組織との連携の模索					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	R5. 1. 12
主要施策	移住・定住支援 空き家の活用プロジェクト	総務課	作成係	企画情報係

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和4年度)	結果数値についての考察
移住コーディネーター設置	設置	-	移住策に手が回らずコーディネーター設置を延期している。
移住コーディネーターによる移住相談件数	20件	-	〃

■ 取組内容

①	移住情報発信・移住者支援	担当課	総務課	記入係	企画情報係	
<p>・村への UI ターンを働きかけるホームページを作成したり、都内の UI ターンイベントに出展するなどし、村での暮らしを包括的に紹介します。</p> <p>・地域おこし協力隊の活用を念頭に移住コーディネーターを設置し、移住希望者や移住者の総合的支援を行います。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	
章		節		項	事業	
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止及び業務の優先順位を考慮し、移住施策に時間が割けなかったため事業を円滑に実施することが出来なかった。 ・移住希望者向けのホームページにおけるアクセス数は前年同期間と比較して2%増加した。 ・有楽町で開催された「ふるさと回帰フェア」へ出展した。個別ブースへの来客は4名だったが、会場内では40部リーフレットを配布した。リーフレットは移住定住・子育て支援のプロジェクトチームが作成。 				評価	C
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながらの事業展開。 ・移住者との相談業務などきめ細かな支援ができるコーディネーターの確保と育成 				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	地元の方を移住コーディネーターとし、早急に事務引継ぎなどを行い、空き家の把握や、空き家の登録促進、空家バンク利用者とのマッチングを強化していきたい					

②	短期移住体験プログラム	担当課	総務課	記入係	企画情報係	
<p>・夏季休暇などを利用し村に滞在し、地域の暮らしを体験するプログラムを農家民宿等と連携して検討します。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	
取組の成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止及び業務の優先順位を考慮し、移住施策に時間が割けなかったため事業を円滑に実施することが出来なかった。人員確保のため、地域おこし協力隊を募集し、コーディネーターにする予定であったが、協力隊自身が移住者であるため、着任当初は協力隊の支援をする人員が必要であり断念した。				評価	C
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながらの事業展開。 ・農家民宿との連携 ・受け入れ窓口の整備 				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	移住コーディネーターを配置し、移住コーディネートの役割だけではなく、移住体験プログラムの事業展開も図っていきたい。					

③	空き家の貸し出し事業	担当課	総務課	記入係	企画情報係		
<ul style="list-style-type: none"> ・村外からの移住希望者へ、空き家の貸し出しを行います。 ・貸し出しのための体制づくりとして、商工会や工務店などによる村内の全体的な管理組織「空き家管理ネットワーク」立ち上げを検討していきます。 							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	事業	移住支援策の強化
章		節		項		事業	
取組の成果	すぐに住める空き家が登録されていないため、村営住宅の空きを活用した短期滞在型のお試し移住に向けて調整を行った。					評価	C
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながらの事業展開。 ・移住希望者やお試し移住希望者が利用できる状態が良い空き家の確保 					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	移住コーディネーター制度を設置し、コーディネーターを中心に事務を進め、ふるさと納税に着手した花月庭園などを中心に空き家管理ネットワークを立ち上げていきたい。						

④	子育て世代住宅建設の支援	担当課	総務課	記入係	企画情報係		
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代に対する、住宅建設やリフォームに対する支援を検討します。 							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	事業	移住支援策の強化
章		節		項		事業	
取組の成果	R3.4より移住定住促進補助金を創設（45歳以下限定） R4実績・戸建て中古住宅取得補助事業1件 ・移住者居住支援補助事業1件 ・若年層定住促進補助事業2件					評価	B
推進上の課題	移住定住促進補助金は移住者向けの補助金のため、定住している人の具体的な支援策にはなっていない。					方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	移住者向けの補助金のため、もともと定住している人の支援策を今後検討していく。定住者への聞き取りなども検討していく。						

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	稼ぐ力と雇用創出	施策主管課	作成日	R5. 1. 12
主要施策	環境維持に向けた組織化と雇用創出プロジェクト	農林商工課	作成係	農政係

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和4年度)	結果数値についての考察
薪買取量	320 t	56 t	一般買取数量は低調となっている。 ※実績→R3年度
薪販売量	300 t	292 t	さざり荘への販売が主となっている。 ※実績→R3年度

■ 取組内容

①	仮称「鮫川村環境公社」設立	担当課	農林商工課	記入係	農政係	
<p>・ 中山間農業の支援と農村環境の維持管理するため、組織的に支える仕組みとして仮称『鮫川村環境公社』の設立を目指します。</p> <p>・ 担い手が高齢化した世帯の農地の管理を通じ、村内の環境維持に努めます。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	3 施設管理組織等の育成 事業	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	3 施設管理組織等の育成 事業	
取組の成果	公社設立に向けて各種資料等を収集分析し協議した結果、現時点において公社設立によるメリットが見いだせないため、他の手法による農村環境の維持管理に取り組む。				評価	C
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収益採算性の確保に向けた事業展開が大きな課題となっている。 ・ 主に公社を運営する人材の確保が課題となっている。 				方向性	縮小
新たな取組や見直しの方向等	人材確保のための組織づくりなど、公社が取り組む事業の検討が必要。また、村内業者や他事業との連携（小中一貫校、中心地活性化、手まめ館運営など）を図る必要があるため、全庁的な議論が必要。					

②	生活支援ニーズに対応した雇用の創出	担当課	農林商工課	記入係	農政係	
<p>・ 草刈作業のほか、雪かきなどを担い、暮らしの中の人手不足の需要も東ねて新たなサービスを創出します。</p> <p>・ 農業半分・他の仕事を半分というように、現代版百姓を志望する人たちへ、仕事紹介などを通じて支援します。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	3 施設管理組織等の育成 事業	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	1 農業生産基盤の充実 事業	
取組の成果	特定地域づくり共同組合の説明会を開催し、村職員並びに村内事業者等が参加した。組合設立に前向きな反応があったため、希望事業者に対し詳細な事業説明会を実施する。				評価	C
推進上の課題	シルバー人材センターの高齢化による人材不足に対応できる仕組みづくりが課題となっている。また、機械等の設備投資費用が高価なことや、生活を支える本業（会社等）を優先し離農するケースが増えているので、過度な負担とならない取り組み方法の検索が課題。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村内企業や有資格者の活用や年間を通して様々な仕事を行う鮫川村らしいマルチワーカーの検討。（特定事業協同組合の立ち上げに向けた検討） ・ 学校での農作物栽培や家庭菜園の普及による農業に対する意識醸成を図りたい。 					

③	森林資源の利活用	担当課	農林商工課	記入係	林業畜産係		
<ul style="list-style-type: none"> ・埋没している森林資源及び未利用地域資源の活用の向けた可能性を探るため、森林環境譲与税等の資金を活用した、ワークショップの開催を進めます。 ・未利用の森林資源を活用するため、間伐材や未利用木材を住民から買い上げ、「さぎり荘」等の薪としての活用を推進します。 ・東白川4町村広域連携による地域森林資源活用を推進します。 							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	3 活力と交流に 満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	6 計画的な森林の 整備・再生	事業	森林環境保全と森林を守り育て る意識の啓発とその活動
章	3 活力と交流に 満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	7 林業従事者の育成・ 森林管理体制の整備	事業	林業従事者の育成支援ほか
取組の成果	・森林資源(未利用材)の住民から買い上げを行い、薪としての活用を図っているが昨年度と比較して大幅に減少している。					評価	B
推進上の課題	森林環境譲与税の今後の活用方法					方向性	維持
新たな取組や 見直しの方向等	林業関係団体と連携した林業従事者の育成や計画的な森林の整備に向けて、奥久慈流域林業活性化センターを中心に講習会等の開催を計画する。						

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	R5. 1. 12
主要施策	観光資源の活用と交流・関係人口増加プロジェクト	農林商工課	作成係	商工観光係

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和4年度)	結果数値についての考察
さめがわファンクラブ会員数	1,000人	800人	ふるさと納税や関わりのある企業に対しPRを行ったことで正会員が大幅に増加した
鹿角平観光牧場利用者数	20,000人	9,290人	10月末現在 コロナの影響は続いているが、キャンプ場、バーベキュー利用者は徐々に増えてきている。

■ 取組内容

①	観光・交流資源の整備充実及び有効活用	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・国道289号のバイパス化により、これまでの交通体系から変化がもたらされるため、鹿角平観光牧場を拠点とした観光政策の推進のための事業計画の策定及び整備、天文台や星空等の事業と連動させた事業を展開します。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 観光・交流資源の整備充実及び有効活用	
				事業	鹿角平観光牧場総合整備計画の策定及び実施	
取組の成果	キャンプブームもありキャンプ利用者が増加していることを踏まえ、キャンプ場の水はけ対策として水路工事と暗渠排水工事を行った。				評価	A
推進上の課題	ハード整備の費用は高額になることが予想されるが、村の中心拠点として整備は必須であることから、交付金を活用しながら段階的な整備が必要とされる。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿角平観光牧場を中心とした体験アクティビティのコンテンツ開発とそれを担える人材確保が必要 ・クロスカントリーコースの利活用の検討 					

②	観光・交流機能の強化	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・交流施設「ほっとはうす・さめがわ」や農村体験交流施設「山王の里」を活用し、都市住民との交流イベントを開催して、交流人口のさらなる増加を目指します。</p> <p>・農家民宿の新規開設者に対する手続きや費用支援のほか、協議会への参加誘導により、交流人口の増加を図ります。</p> <p>・民間を活用した温泉旅館の運営により、新たな人の流れを生み出します。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化	
				事業	農村体験交流施設「山王の里」運営事業の検討	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化	
				事業	グリーンツーリズム事業の推進/農家民宿運営協議会の支援	
取組の成果	「ほっとはうす・さめがわ」、「温泉旅館 結び」は村の宿泊施設として民間経営により運営している。宿泊が伴う村の事業(美景写真ワークショップ 年3回)、イベント(マツダスポーツクラブラリー大会)などの参加者、スタッフ方の宿泊先として利用していただいた。農家民宿については、コロナ禍ではあるが、各農家民宿の判断で受入を再開。山王の里については指定管理者を募集を行ったが、募集者がなく、現在は休館している。				評価	B
推進上の課題	農業体験交流施設「山王の里」の指定管理者がいない為、施設の検討が必要である。民間から相談等があれば協議を行っていく。なお、施設に掛かる維持費については村で負担する。(R5予算計上)				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	農業体験交流施設「山王の里」の施設としての方向性を検討が必要な時期である。					

③	広域観光・交流体制の充実	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・東京鮫川会等各種団体と相互協力のもと、交流事業を展開します。</p> <p>・東白川自転車活用推進計画に基づき、東白川郡4町村が協力し、観光と一体となったサイクルスポーツの推進を図ります。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に 満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	3 広域観光・交流 体制の充実	
章		節		項		
事業	広域連携観光推進事業					
事業						
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・4町村によるサイクレイブントの開催。今年度は次年度に向け関係者を対象にロゲイニングイベントのプレ大会を実施。 ・ふくしま県南観光推進協議会で那須町、TOKIO-BAで観光PR活動を実施。特産品の販売や観光パンフレットの配布を行った。 				評価	A
推進上の課題	村内でのレンタサイクル管理体制の構築				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル事業については、東白川サイクリング推進会議内で4町村連携した取り組みを目指している。 ・徐々に増えているサイクリスト向けにサイクルラックの作成、村内事業所への設置 ・デマンド交通との連携（疲れたら回収してもらえる仕組み） 					

④	農村体験交流の推進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・交流人口の拡大と移住対策として、農村生活体験を中心に、村の魅力を堪能してもらい、移住検討のきっかけづくり事業を行います。</p> <p>・大学生等を対象に、農村生活体験活動を行い、地域の魅力掘り起こしや移住定住に向けた事業の展開をします。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に 満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての 特性を生かした 観光・交流機能の強化	
章		節		項		
事業	グリーン・ツーリズム事業の推進/農 家民宿運営協議会の支援					
事業						
取組の成果	東京都北区の住民を対象としたツアーを開催し、季節ごとのツアーの定例化を望む声が多く聞かれた。				評価	C
推進上の課題	現在の手法では北区豊島5丁目団地の住民に限られているため、さめがわファンクラブの会員を対象とする交流人口の拡大の模索。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	さめがわファンクラブなどをターゲットとした農村体験交流により、移住のきっかけとなる機会の創出。					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	R5.1.12
主要施策	村民の生涯現役プロジェクト	住民福祉課等	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和4年度)	結果数値についての考察
公民館利用者数	7,000人	5,301人	新型コロナウイルスの影響で減少している。
図書館利用者数	4,000人	3,502人	新型コロナウイルスの影響で減少している。
健康増進のための取り組みをしている人	65.00%	-	参加人数は横ばいであるが、新型コロナウイルス感染予防対策のため活動自体が控えられている

■ 取組内容

①	地域福祉を推進する、多様な担い手づくり	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係	
社会福祉協議会や民生児童委員協議会等と連携しながら、各種福祉団体、福祉ボランティア団体、NPO等の育成・支援を行い、地域福祉を推進する多様な担い手づくりを進めます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	5 地域福祉	項	2 地域福祉の担い手の育成・確保	
章		節		項	事業	
取組の成果	社会福祉協議会を通して福祉団体の活動支援を行っている。				評価	B
推進上の課題	地域福祉を推進する担い手の高齢化が進んでいる。現存している団体の新たな担い手を発掘するべく世代継承が必要である（現会員：日赤会員50人、老人クラブ会員385人）。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	現存する福祉団体の運営継続に向けて引き続き支援を行い新たな会員確保に努める（目標：日赤会員5人、老人クラブ会員10人）。					

②	地域交流の推進と自助・共助の芽生えを支援	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係	
・地域の高齢者が楽しく集える居場所として、地域ふれあいサロンの充実を促進します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	5 地域福祉	項	3 地域全体で支え合う活動の促進	
章		節		項	事業	
取組の成果	地域活性化起業人の導入により地域ふれあいサロンやいきいき百歳体操などの活動支援し、高齢者の居場所づくりを後押ししている。				評価	B
推進上の課題	人口高齢化の進行にあわせ増加が見込まれる一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方々が社会参加しやすい環境の整備やその運営主体となる人材の確保（育成）が課題である。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	筋力づくり教室や地区高齢者支援事業を含め地域ふれあいサロンの再編を行い、高齢者の居場所づくりの充実を促進させるとともに、その運営主体となる人材の確保（育成）を継続的に実施する（目標：新たな人材確保7人）。					

③	生涯学習推進体制の充実	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
<p>・子どもから高齢者までが、興味と関心をもって積極的に参加できる学習や体験の機会を提供するとともに、学習施設の整備に努めるなど、生涯学習体制の充実を図ります。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	4 人と文化が輝く ふるさと鮫川	節	1 生涯学習	項	1 生涯学習推進体制の充実 事業	
章		節		項	事業	
取組の成果	生涯学習計画と年間計画を作成し、歴史、文化、社会教育、社会体育の推進した。文化祭、主張大会、成人式、スポーツ大会等の行事について、コロナウイルス感染症防止対策を行い実施した。				評価	B
推進上の課題	公民館、歴史民俗資料館の利用方法を工夫する。村民に足を運んでもらえる企画。マスコミ等外部への発信ができなかったのが課題。係や課を越えた横断的な連携が必要。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	公民館、歴史民俗資料館で企画展を実施。R5生涯学習アンケートの実施を実施し、村民の要望、満足度を調査する。					

④	ニーズに応じた特色ある講座・教室の運営	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
<p>・子育てや家庭生活、体験活動などニーズに応じた特色ある講座・教室の運営を行います。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	4 人と文化が輝く ふるさと鮫川	節	1 生涯学習	項	2 ニーズに応じた特色ある講座・教室の運営 事業	
章		節		項	事業	
取組の成果	チラシを工夫し公民館事業の見える化を図った。特色ある講座として、新たに篠笛教室、ふるさと歴史講座、石田味噌づくり教室、健康講座でお腹シェイプ、キックボクシングシェイプなどを実施した。事業のマンネリ化の解消につながり、新たな参加者が増加した。				評価	A
推進上の課題	特に、小学生と中高生の事業を充実させることが課題。親子で学べる講座が少ない（親と子が同じ時間、同じ場所で学べる講座を検討）。公民館事業を外部に発信していない。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	チャレンジスクールを中高生未来ジュークとタイアップする。公民館事業の充実を図る。子育て世代が参加でき、学べる環境づくり。プレスリリースなどで外部に公民館事業を発信する。R5事業ごとにアンケート調査を実施。					

⑤	大学等連携事業	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
<p>・施策の目的別に連携する大学を選定していき、課題解決に見合った取り組みを行っていきます。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章		節		項	事業	
章		節		項	事業	
取組の成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、事業実施に至らなかった				評価	C
推進上の課題	村の魅力、可能性を小中学校と大学生で考える機会を作る。大学と学校との調整役、コーディネーターが必要				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	オンラインを活用し、鮫川村出身の大学生と小中学生の交流を図る（ようこそ先輩事業）。また、東京農業大学と連携し、里山の景観保全と農業についてワークショップ等で一緒に学ぶ授業を実施する					

⑤	大学等連携事業	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係	
<p>・施策の目的別に連携する大学を選定していき、課題解決に見合った取り組みを行っていきます。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章		節		項	事業	
章		節		項	事業	
取組の成果	医療創生大学国際看護学部（千葉県）との連携により村内独居高齢者の社会的交流の増加を促すことを目的に実施する。				評価	B
推進上の課題	令和4年12月時点では大学側の準備段階で、村内でのフィールドワークまでには至っていない。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	コーディネーターとして村地域包括支援センターが携わり学生と独居高齢者との交流を進めることにより、身体的精神的機能の維持向上が期待される（目標：交流学生10人）。					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	R5.1.12
主要施策	館山公園を核とした中心地活性化プロジェクト	農林商工課等	作成係	商工観光係

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和4年度)	結果数値についての考察
手まめ館利用者数	90,000人	66,000人	コロナの影響を受けているが、集客は徐々に増えてきている
マルシェ等のイベントの開催	3回	2回	手まめ館感謝祭、若者未来創出会議主催のロゲイニングイベントを実施

■ 取組内容

①	賑わいの核となる公園整備	担当課	地域整備課	記入係	建設係	
<p>・村の中心部に集客の象徴として、子どもをはじめ老若男女が集える音楽イベントやマルシェも可能な広場がある多目的公園機能を整備します。</p> <p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	1 きれいで安全なふるさと鮫川	節	4 公園・緑地、緑化	項	1 公園・緑地の管理体制の充実	
章		節		項		
取組の成果	鮫川村幼保小中学校検討委員会での義務教育学校（複合施設）に関する検討。（広い校庭（芝生化）と遊びたくなるような遊具等の設置）				評価	D
推進上の課題	日常的な賑わいを創出するために最適な公園の配置と横断的な検討及び財源の確保				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	中心地活性化住民ワークショップ（担当：村づくり推進室）で中心地域の賑わいの創出について議論をする中で、賑わいの核となる公園の規模や場所を検討していく。					

①	賑わいの核となる公園整備	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・村の中心部に集客の象徴として、子どもをはじめ老若男女が集える音楽イベントやマルシェも可能な広場がある多目的公園機能を整備します。</p> <p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	1 きれいで安全なふるさと鮫川	節	4 公園・緑地、緑化	項	2 公園・緑地の整備事業	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	4 情報発信の強化	
取組の成果	ファンクラブミーティングを開催し館山公園内に花壇と植栽を実施し、環境整備を行った。				評価	B
推進上の課題	各種イベントなどが開催できる広場の整備。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	景観形成活動を行い、村に賑わいと関わりを持つ人を増やしていく 景観形成活動に参加する人数を20%増やすため、SNSを活用して情報発信する。					

②	中心地域の賑わいづくり	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
公園周辺へ店舗等の誘致・周囲には起業による新たな店舗の誘致やチャレンジショップの開設などを通じて、回遊性を高め、賑わいづくりの相乗効果を図ります。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	3 広域観光・交流体制の充実	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	
取組の成果	手まめカフェでのマッサージやキッズネイル等の実施				評価	B
推進上の課題	チャレンジショップや起業希望者数の把握 空き店舗の活用希望者数の把握（店舗の出手と使い手）				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	空き店舗などを展示場所（児童絵画など）に利用し、回遊性を高める。					

③	温泉施設、公園など文教施設などの周辺環境整備	担当課	総務課	記入係	企画情報係	
・公園を中心とした面的整備に取り組みます。また、その延長として周辺の環境整備にも取り組み、地域資源の有効活用を目指します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 求人情報の提供と事業所への働きかけの推進	
章		節		項	事業	
取組の成果	令和5年度の中心地活性化協議会に向けて調整を行った。				評価	C
推進上の課題	令和5年度に行われる中心活性化協議会の開催				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	今後、総合的な整備方針などを検討していく。					

③	温泉施設、公園など文教施設などの周辺環境整備	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・公園を中心とした面的整備に取り組みます。また、その延長として周辺の環境整備にも取り組み、地域資源の有効活用を目指します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 求人情報の提供と事業所への働きかけの推進	
章		節		項	事業	
取組の成果	公園内の維持管理業務を鮫川村シルバー人材を活用し、延べ人数212人、27日間で環境整備を行った。				評価	B
推進上の課題	維持管理団体の高齢化と会員減少 有償ボランティアの活用も含めた管理体制の構築				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	草刈り応援隊の活用及び有償ボランティアの募集					

④	賑わいを促進するためのイベント開催	担当課	総務課	記入係	企画情報係	
・特産品を販売したり、季節性のあるイベントを定期的で開催し、村内外から人を集め、常に賑わいのあるエリアとしていきます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 観光・交流資源の整備充実及び有効活用	
章		節		項	事業	
取組の成果	若者未来創出会議が主催した館山公園を活用したロゲイニングイベントを開催し21名（大人10名子ども11名）が参加した。村外からの参加者も数名いたが、村の魅力を再発見するきっかけとなった。				評価	B
推進上の課題	イベント企画、及び開催する地域団体の育成				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	村主催の人材育成事業（インスタでさがわ応援隊）により、中心地域の商店にスポットをあてた活動を行うことで、情報発信力の強化と地域リーダーの育成や団体の設立を図る。					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	稼ぐ力と雇用創出	施策主管課	作成日	R5. 1. 12
主要施策	村にお金を落とす仕組みづくり「お互いさま運動」推進プロジェクト	農林商工課	作成係	商工観光係

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和4年度)	結果数値についての考察
すまいる 年間販売額	4,500万円	4,672万円	目標値を上回っている。
すまいる 宅配利用者	150人	89戸	
マルシェ等のイベントの回数	3回	0回	新型コロナウイルス感染症の拡大により集客イベントの開催が出来る状況ではなかった。

■ 取組内容

①	買い物弱者支援施設運営支援	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・「村民の店 すまいる」の運営費用の一部について、運営主体の村商工会に助成します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	
章		節		項	事業	
取組の成果	運営費用の一部を助成				評価	B
推進上の課題	従業員の確保とそれに係る人件費の確保。運営主体の自立した経営				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	継続して運営費用の一部を助成し、自立した経営を協議していく					

②	商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・村内の事業所や地域の発展のために活動する商工会の活動を支援します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	1 商工会の活動支援	
章		節		項	事業	
取組の成果	商工会の指導職員、事務局長の人件費の支援と商工会青年部・女性部の団体活動の支援を行ったことで商工会の運営と村内事業所の振興が図れた。				評価	B
推進上の課題	第三者承継など持続可能な経営方法の提案				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	継続して指導職員設置費、事務局長設置費、商工団体活動の一部を支援					

③	地域経済循環の推進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・チャレンジショップやフリーマーケットとマルシェの合同イベント、軽トラ市の定期開催などを実施し、村に埋もれている起業者を発掘し、さまざまな物が村内でも買えるシステムを構築します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	
章		節		項	事業	
取組の成果	コロナ交付金を活用し、まめな暮らし応援商品券の発行				評価	D
推進上の課題	事業推進役と起業者の発掘				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	地域ポイントなどの導入を検討していく。					

自己評価	備考
A	非常に大きな効果が見られた。
B	一定の効果が見られた。
C	あまり効果が見られなかった。
D	全く効果が見られなかった。

方向性	備考
維持	今後も維持していく方向である。
縮小	今後は縮小していく方向である。
廃止	今後は廃止方向である。 ※他の事業に統合させたり、新規事業として組み直す場合はその旨を備考欄に記してください。